



## 金属がキラキラ光るのはなぜ

物は、光を反射したり吸収したりする

金属は、光にあるとキラキラと光ります。ほかの物が、金属のように光らないのは、どうしてなのでしょう。

日光やけい光灯の光は、いろいろな色の光が混ざりあっています。日光をプリズムという三角柱のガラスに通すと、赤、だいだい、黄色、青などの7色に分けられることからわかります。

物が赤い色に見えるのは、その物が受けた光のうち、赤い色の光だけを反射して、ほかの色の光を吸収します。つまり、物に色がついて見えるのは、その色の光を反射し、ほかの色の光を吸収してしまいます。反射された光が、色として目にうつるのです。

### 金属の表面が鏡のようになっている

物は、原子からできています。原子は、顕微鏡を使っても見る事ができないほど、たいへん小さなつぶです。金属の表面は、原子のつぶが集まって、規則正しく並んだ結晶になっています。

金属の表面は鏡のようになっていて、光をよく反射します。そして、金属は、受けた光をほかの物よりも、たくさん反射しているので、キラキラと光るのです。

(監修・青木 国夫)

